

指の二指の指頭を互に山形につけ、下に両手の親指の指頭を逆さ山形につけて一つの菱形をつくる。即ちパンタグラフの形、そのまま前へ移行させて行く。

**電信 電報** 上向けた左手の掌の上を、電信機のキーを打つように右手の人差指と中指の指頭で交互のたたく。

**伝染 病氣**——ひろがる（掌を上向けた両手を前から左右に振って行く）

**転宅** 「家」を稍々前右寄りの位置で表わし、その「家」を左方へそのまま移す。

**電灯** 掌を下に向け五指を集め合せた左手の甲の上の皮を右手五指でつまんでから、下の左手五指をバツと開く。

**転覆** 五指の指頭を前方直角にさし掌を左側にした右手を前へまっすぐに進ませて途中で掌を上向に寝かせる。

**転落 墮落**——落ちぶれる。

**展覧会** 掌を上向け五指の指頭を前方にし

た両手を前で左右に並らべてから左右に離して行く（いろいろの物を展覧すること）。次に「探す」と同じ要領の手まね。即ち、人差指と親指とで輪をつくったのを（他の三指は伸ばしたまま）眼の前にして、ぐるぐると左右に上下にその手を廻わす。眼を見開いて見て行くこと。

**電話** 右手拳を右耳もとでぐるぐる廻わし、左手の拳（送話機）を口もとに持って行く。

ト

と（云う）とのこと だうそうな 五指を集め合わせた右手を右耳に向ってぱつと五指を開く。耳に入ったとのこと。

戸扉 (ハ) 引き戸。両手で戸を左へ引き

開ける身振り。(例) 唐戸。掌を前向け五指の指頭を上にした両手をびったり左右に並らべて両手掌を同時に内側に向き返らせて両手を左右に開く。(例) 扉(ドア) 五指の指頭を上にしたし掌を前に向けた左手の甲(親指の背辺り)に右手でハンドルを持つ心持ちで右へくるりと廻わすと同時に左手掌を内側に向き返らせる。

塔 「家」の手まねをそのまま上へ上へと三度ばかり重ねて表わし最後に左手をそのままの姿態で残し右手の指頭を上にした人差指(塔の五輪)のつけ根を左手の中指の指頭につける。

遠い 「大層」の手まねを、その腕の前に伸ばして表わす。

とうとう 「遂に」「終り」と同じ手まね

問う 「訊く」「尋ね」と同じ手まね。

銅 茶色—金属

答案 「答え」と同じ手まね。

同意 (例) 考え—同じ。(例) 「賛成」と同じ手まね。

統一 「統べる」と同じ手まね。

討議 「議論」と同じ手まね。

峠 山—道(くねくねと上り道を表わして、次に下り道を表わす)

動作 「行い」と同じ手まね。

倒産 「家」の手まねをして、その両手の掌をびしゃりと合わせる。家がつぶれたこと

同志 心—味方。

同時 時—一緒。

党首 政党—主(男性を表わした親指を少し上に上げる)

投手 指頭を前方にさした左手の人差指に、指頭を左にさした右手の人差指と親指を少しまるめて曲げてその指頭をつけてPの形をつくる。ピッチャーのPである。